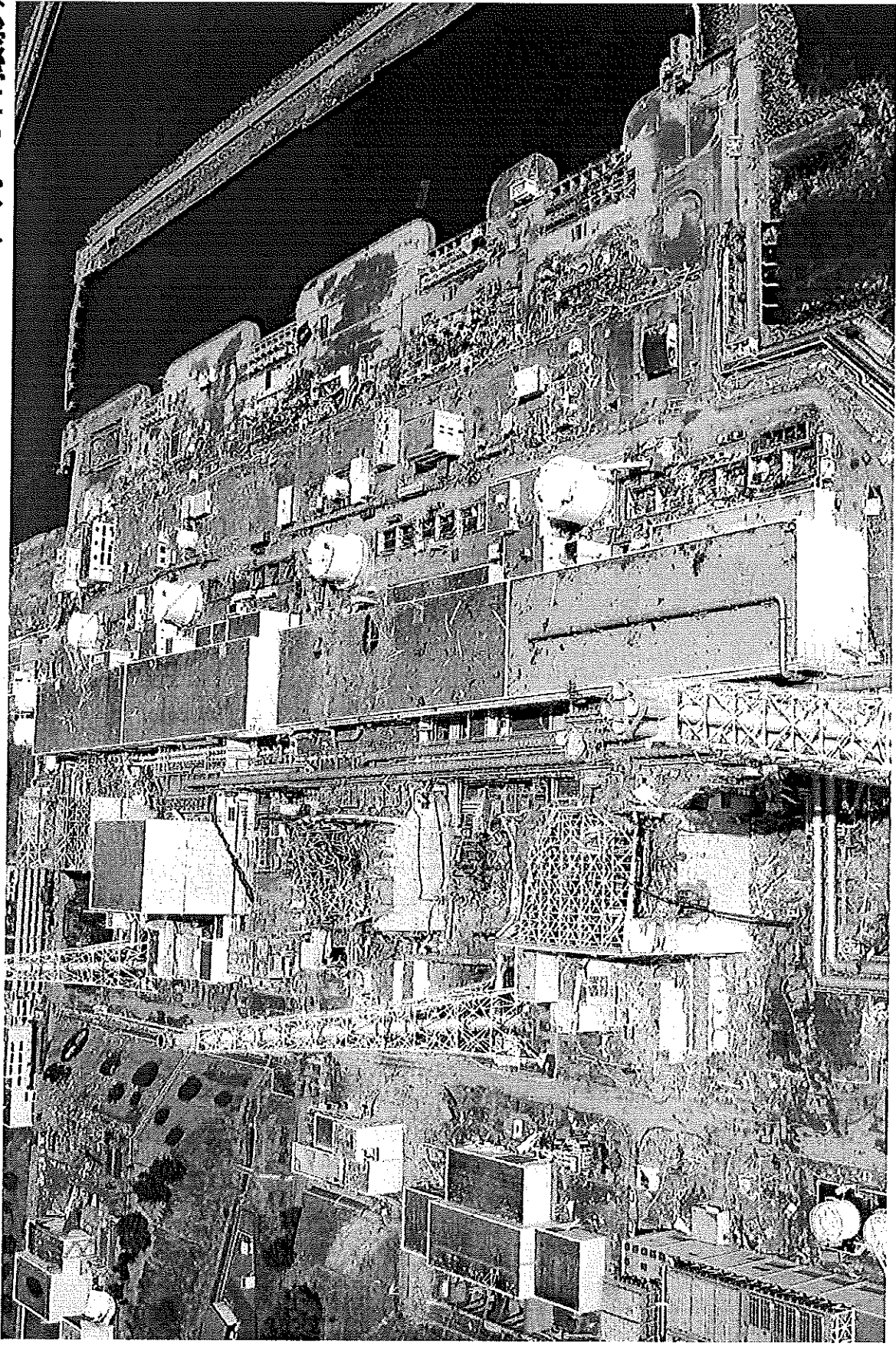


福島第一原子力発電所事故の概要

平成23年6月 原子力安全・保安院「東京電力福島第一原子力発電所における原子力災害対策を踏まえた緊急安全対策の対応状況等について（若狭地域の原子力発電所関係）」から抜粋

福島第一原子力発電所の状況

(3月25日撮影)



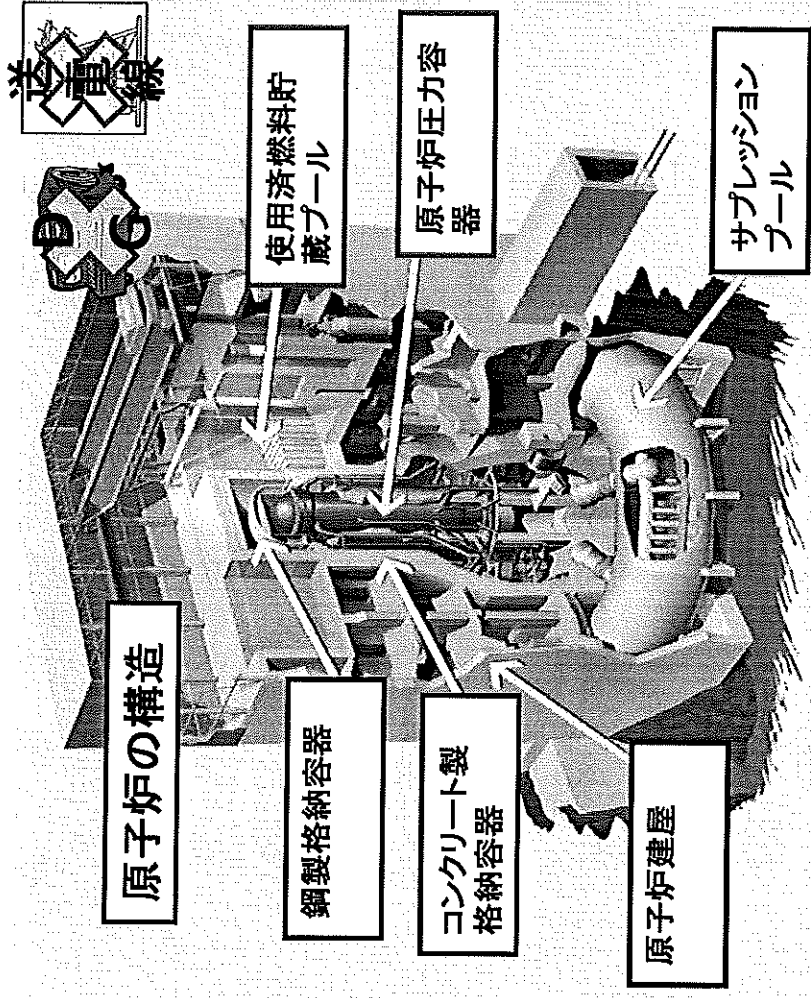
写真奥から1号機、一番手前が4号機

原子力災害の発生 (地震、津波発生当時の福島第一原子力発電所の状況)

	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
3月11日	地震発生(14:46)					
	(定期検査中)					
	原子炉自動停止(14:47)					
	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用DG(2台とも)起動(14:47) ○非常用復水器起動(14:52) ○格納容器スプレイ系起動(15:07、15:10) 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用DG(2台とも)起動(14:48) ○原子炉隔離時冷却系起動(14:50) ○逃がし安全弁動作(14:52) ○残留熱除去系ポンプ起動(15:00頃) 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用DG(2台とも)起動(14:48) ○原子炉隔離時冷却系起動(15:05、16:03) 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用DG(1台)起動(1台点検中) 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用DG(2台とも)起動(14:48、14:49) 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用DG(3台とも)起動(14:48(1台)、14:49(2台))
	津波第1波到達[高さ4m](15:27)、津波第2波到達[浸水高さ15m](15:35)					
	<ul style="list-style-type: none"> ○全交流電源喪失を確認(15:37)(津波到来により海水冷却系や配電盤等の電源系が被水・冠水、非常用DGも機能喪失) 					
3月12日以降	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用冷却装置が全て停止 ○原子炉の水位が低下 ○炉心の損傷、溶融開始 ○原子炉建屋での水素爆発 	<ul style="list-style-type: none"> ○原子炉建屋での水素爆発 	<ul style="list-style-type: none"> ○6号機非常用DGから給電 	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用DG1台(空冷式)は運転継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○原子炉冷温停止 	

②原子力災害の発生

(地震、津波発生当時の福島第一原子力発電所の状況)



地震発生



(止める機能)
地震により制御棒は挿入し自動停止した。



津波襲来

(冷やす機能)
津波により電源や海水冷却機能を喪失



その結果

これらの要因により原子炉の冷却機能を維持することができなかつたため、炉心溶融にまで至るとともに、原子炉建屋外へ放射性物質が放出され、原子力災害に至った。